

仕 様 書
(多項目自動血球分析装置)

令和 5年 8月

【 多項目自動血球分析装置 】

I. 多項目自動血球分析装置については、以下の要件を満たすこと。

球
で

1. 測定項目については、血球計数(WBC,RBC,HGB,HCT,MCV,MCH,MCHC,PLT)、白血球分類(NEUT,LYMPH,MONO,EO,BASO#,%)、網状赤血球 (RET#,%))を1台で同時測定できる機能を有すること。
2. 測定方法として、レーザーによるフローサイトメトリー法を採用していること。
3. ヘモグロビン量の測定においては、シアンなどの毒劇物を含まないこと。
血小板数測定においては電気抵抗方式を含む 2 法以上の測定原理で結果出力ができること。
4. 有核赤血球数の測定においては測定モードの切り替えをすることなく初回測定で結果を表示することができること。
5. オーダー情報をもとに項目選択が 1 検体毎、血球計数のみ/血球計数+白血球分類/網状赤血球項目をランダムに自動測定できる機能を有すること。
6. 処理能力については、血球計数/白血球分類同時測定時で約 100 テスト以上/時間、網状赤血球測定時は 100%オーダーの場合でも約 80 テスト以上/時間であること。
7. 1回の吸引血液量は 90 μ l 以下であること。また微量検体に対応する希釈モードを有していること。
8. データ処理装置の記憶機能は数値データ・スキッタグラムを含め 10,000 検体以上であること。複数の操作者が操作することを考慮しメニューは全て日本語対応であること。
9. メーカー主催の外部精度管理調査を毎日実施しており、データ異常やトラブルを事前に自動検知して対応できる体制があること。
10. 体液測定モードを有しており、試料は脳脊髄液、胸水、腹水、関節液に対応し検体の前処理をすることなく白血球数、赤血球数を測定できること。また白血球数については単核・多核の分類が可能であること。
11. メーカーのアフターサービス体制として技術担当者は施設専任制を敷いており、沖縄本島に毎週3日以上滞在していること。
12. 既存の検査システム(エクセル・クリエイツ)との接続が可能であること。

II. 設置場所

国立療養所宮古南静園治療棟検査室

Ⅲ. 契約期間及び納入期限

1. 契約期間は、契約締結日から令和6年3月29日とする。
2. 業務終了後、直ちに事業概要を記載した業務完了報告書を提出すること。(遅くとも令和6年3月22日(金)まで提出し、検査の結果、業務完了報告書に修正する必要がある場合、受託者は直ちに当該業務完了報告書を引き取り、必要な修正を行った後、令和6年3月29日(金)までに、修正が反映されたものを提出すること。)